

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公表番号】特表2013-507676(P2013-507676A)
 【公表日】平成25年3月4日(2013.3.4)
 【年通号数】公開・登録公報2013-011
 【出願番号】特願2012-532541(P2012-532541)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 19/10 (2006.01)
 B 4 2 D 15/10 (2006.01)
 G 0 6 F 21/32 (2013.01)
 H 0 4 L 9/32 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 19/00 S
 B 4 2 D 15/10 5 0 1 P
 B 4 2 D 15/10 5 0 1 L
 G 0 6 F 21/20 1 3 2
 H 0 4 L 9/00 6 7 3 D

【手続補正書】
 【提出日】平成25年9月18日(2013.9.18)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

積層されている複数のドキュメント層から構成されているドキュメント本体を備えるドキュメントであって、

前記複数のドキュメント層のうち第 1 の層は、評価部を有しており、

前記複数のドキュメント層のうち第 2 の層は、第 1 のバイオメトリクスデータを収集するための第 1 の取得部を有しており、

前記複数のドキュメント層のうち第 3 の層は、第 2 のバイオメトリクスデータを収集する第 2 の取得部を有しており、

前記評価部は、少なくとも前記第 1 の取得部および前記第 2 の取得部に接続されていて、前記第 1 の取得部および前記第 2 の取得部から少なくとも前記第 1 のバイオメトリクスデータおよび前記第 2 のバイオメトリクスデータを受信し、

前記評価部は、前記第 1 の取得部および前記第 2 の取得部から供給される前記第 1 のバイオメトリクスデータおよび前記第 2 のバイオメトリクスデータについて評価を行って、前記評価の結果に基づいて前記ドキュメントの機能をアクティブ化するドキュメント。

【請求項 2】

前記第 1 のバイオメトリクスデータおよび前記第 2 のバイオメトリクスデータは、異なる種類のバイオメトリクスデータである請求項 1 に記載のドキュメント。

【請求項 3】

前記第 1 のバイオメトリクスデータまたは前記第 2 のバイオメトリクスデータは、指紋データ、虹彩スキャンデータ、顔バイオメトリクスデータ及び遺伝子データから選択されるバイオメトリクスデータのうち 1 つである請求項 2 に記載のドキュメント。

【請求項 4】

前記遺伝子データは、DNA配列データである請求項3に記載のドキュメント。

【請求項5】

前記第1のバイOMETRICSデータ用の第1の基準データを格納する第1のメモリ領域を備え、

前記第2のバイOMETRICSデータ用の第2の基準データを格納する第2のメモリ領域を備え、

前記評価部は、前記第1の基準データおよび前記第1のバイOMETRICSデータに基づいて第1の信頼値が決定され、前記第2の基準データおよび前記第2のバイOMETRICSデータに基づいて第2の信頼値が決定されるように構成されている請求項1から請求項4のいずれか一項に記載のドキュメント。

【請求項6】

前記評価部は、前記第1の信頼値および前記第2の信頼値のうち一方が第1のしきい値を超えると、前記機能がアクティブ化されるように構成されている請求項5に記載のドキュメント。

【請求項7】

前記評価部は、前記第1の信頼値および前記第2の信頼値が入力される計算処理の結果が第2のしきい値を超えている場合に前記機能がアクティブ化されるように構成されている請求項5または請求項6に記載のドキュメント。

【請求項8】

前記計算処理は、前記第1の信頼値および前記第2の信頼値の線形結合である請求項7に記載のドキュメント。

【請求項9】

機密データを格納する電子メモリと、前記機密データを出力するインターフェースとを備え、

前記機能は、前記機密データへの読出アクセスの実行であり、

前記評価部は、前記機密データを保護するための暗号処理を実行し、

前記インターフェースを介して前記機密データを出力するために必要な要件は、前記第1のバイOMETRICSデータおよび前記第2のバイOMETRICSデータが所定の基準を満たしていることであり、満たしているか否かは前記評価で確認される請求項1から請求項8のいずれか一項に記載のドキュメント。

【請求項10】

前記複数のドキュメント層のうち少なくとも第4の層は、表示デバイスを有しており、前記評価部が前記表示デバイスを制御できるように、前記表示デバイスは前記評価部に接続されている請求項1から請求項9のいずれか一項に記載のドキュメント。

【請求項11】

前記複数のドキュメント層のうち少なくとも第4の層は、表示デバイスを有しており、前記評価部が前記表示デバイスを制御できるように、前記表示デバイスは前記評価部に接続されており、

前記評価部は、前記機能がアクティブ化された後に前記機密データの少なくとも一部を表示するように前記表示デバイスが制御されるように、構成されている請求項9に記載のドキュメント。

【請求項12】

少なくとも前記評価部の電源に電気エネルギーを誘導結合するための手段を備える請求項1から請求項11のいずれか一項に記載のドキュメント。

【請求項13】

前記第1の取得部は、電子カメラとして構成されている請求項1から請求項12のいずれか一項に記載のドキュメント。

【請求項14】

制御可能な光学レンズ素子を含む体積ホログラムを備えており、

前記体積ホログラムは、前記電子カメラの光路に配設されており、前記体積ホログラム

は、前記評価部によって制御される請求項1 3に記載のドキュメント。

【請求項 1 5】

前記複数のドキュメント層のうち少なくとも第 5 の層は、光学セキュリティフィーチャを含む

請求項 1 から請求項1 4のいずれか一項に記載のドキュメント。